


国際ロータリー第2790地区 第6分区


東金ロータリークラブ会報

2009-2010 国際ロータリーのテーマ



ロータリーの未来は
あなたの手に

2009～2010 年度
 国際ロータリー会長 John Kenny
 第2790地区ガバナー 中村 博恒
 第6分区ガバナー補佐 四之宮由己
 東金ロータリークラブ会長 豊福 豊次
 幹事 野口 隆利
 クラブ総務 平間 睦生



創立 1959年(昭和34年)9月15日
R I 承認 1959年(昭和34年)10月17日
例会日 火曜日 12:30～13:30
例会場 東金商工会館 4階
Web サイト <http://www.togane-rc.jp/>
事務所 千葉県東金市東岩崎1-5 東金商工会議所内
TEL 0475-52-1101(代) **FAX** 0475-55-5766
E-mail info@togane-rc.jp

2010年(平成22年)5月12日 第51巻 第37号 通巻第2459号

第2460回例会 5月12日(火) 12時30分点鐘：例会場

開会宣言と点鐘 **君が代** **奉仕の理想** **四つのテスト** **お食事『かしま』**
 会長挨拶 幹事報告 委員会報告 結婚・誕生祝い **パースデーソング**
 卓話 並木 孝治会員 **ニコニコBOX発表** 出席報告 閉会宣言と点鐘

前回の記録(4月27日火曜日)例会

会長挨拶

先週は冷たい雨のなか、成田空港南RCとの合同例会ご苦労様でした。

この合同例会がどのような趣旨でいつ頃から始められたのか、本年度は何回目か、お解かりの方は教えて欲しいと思います。

それにしても、今年の3月、4月の天候不順は異例で例会の次の日、23日の寒さは58年ぶりということで、この寒さがいろいろな面で影響が出ています。まず農作物、特に野菜の生育が悪く、価格が高騰しています。このような天候が続くと、田植えの時期も遅れるのではないかと心配されます。つまり苗の生育が遅れるからです。今朝、テレビを見ていましたら南房総市は花の産地、今の時期は5月第2週の日曜日「母の日」にあわせてカーネーションを開花させて出荷する。その開花が遅れて出荷が出来なくなるのではないかと農家が心配していると報じておりました。

このところ世界的に見ても大きい地震や火山の噴火など天変地異が起き、異状続きのような感じがします。

本日の卓話は高山先生で、先生は我が故郷宮崎県の「都城の慰霊祭」に今年も参加され、その時の話をお聞かせいただけるということで、楽しみにしています、と言いますのも実は先々週102歳になる母を見舞いに都城に帰って参りました。面倒を見てい

豊福 豊次会長



る兄がだいぶ母が弱くなったとのことで心配だというものですから、見舞ってきましたが、思っていたより元気で安心しました。

高山先生は日南方面の「飢肥城」まで足を伸ばされたようで、日向の国、宮崎は島津藩と伊藤藩からなっており、飢肥城は伊藤藩の居城でわが故郷えびの市は島津藩で、お互いに勢力争いをしており、その最戦先がえびの市の飢肥城でありました。戦国時代から幕末まで戦いの話をよく聞かされて育ちました。

幹事報告

野口 隆利幹事

- ・5月21日(金)16:00～第1回6分区会長幹事会 八鶴亭さくらホール 会費1万円・1名
- ・5月28日(金)17:30登録 18:00開演 第10回全国障害者スポーツ大会支援チャリティイベント ホテル ザ・マンハッタン 会費13,000円
- ・6月1日(火)ガバナー補佐 お礼訪問
- ・6月19日(土)ローターアクト 第38回 年次大会 13:30登録開始 14:00点鐘 6月20日(日)9:30～会場集会 10:00記念行事(農業体験)
- ・7月30日(金)09:00受付 インターアクト 千葉経済大学付属高校(ホスト校)
- ・ボーイスカウトだより 215号が来ています。
- ・銚子RC、八日市場RCより会報が来ています。



卓話 高山 友二会員

宮崎県都城での慰霊祭に出席する機会を利用して、**城下町飢肥（おび）**を探訪した。かねてより川口会員お奨めの「九州の小京都」である。

宮崎から電車で約1時間、1輦のワンマンカー、混雑もなく地域の経済力が想像できる。

飢肥は島津藩との間に、84年という史上例のない争いをくり返した。その象徴が**飢肥城**である。



天正15年、秀吉の九州征討に盡した功績により飢肥城を与えられ、飢肥藩伊藤五万石の城下町が生れ、明治の廃藩置県に至るまで、清楚で気品のある町が築かれ、現在「伝統的建造物群保存地区」に指定されている。

飢肥は世紀の外交官 **小村寿太郎生誕の地**である。国際交流センター小村記念館をじっくりと見学、先賢の足跡を偲んだ。幕末、ペリー提督来航以来続いていた。各国との不平等条約を改正して関税自主権を回復、欧米諸国と対等な立場を作った。日露戦争のポーツマス条約締結の苦労は「**坂の上の雲**」などで、その一端が語られることであろう。

[正直]と[誠]を生涯の信条とし、もし私に長所があるとすれば、それは『誠』の一字に尽きると思う、と語っている。深い感銘と思い出を土産に飢肥を後にした。

4月6日、平成22年度都城市特別攻撃隊戦没者慰霊祭に参列した。都城の市街地から南へ約1kmの地点にある都島公園（旧陸軍墓地）の一角に、特攻慰霊碑「疾風」が建立されている。都城市市街地が一望でき、北西には雄大な霧島連山を望む景勝の地である。「疾風（はやて）」は出撃に使用した当時の最新鋭戦闘機（四式戦）の名称である。

昭和52年慰霊碑建立時に判明した氏名は79名、30歳から18歳、25歳以下いかが72名である。私の同期が22名、18歳と19歳である。遺族代表は挨拶の中で『出撃後に届いた手紙に「私は笑って征きます。お母さんがいつも念じていた“なむあみだぶつ”を称えながら突っ込みます。南無阿弥陀仏」とありました』と述べられた。

18歳、国想う一年に碎けて散りし、彼等の胸中を偲ぶとき、暗然として言葉もない。明治の先賢も昭和の



若桜も、国家郷土の行く末を思い肉親同胞の安全を念じて命を捧げている。この心を語り継がねばならない。梢に残る花も少なくなった晩春、感動の旅であった。（H22.4.26）



昭和二十年四月 日本の命運をかけた沖縄攻防戦は凄惨熾烈をきわめた 南九州の陸海軍航空基地からは爆弾と片道燃料だけを積み込んだ特別攻撃機が日夜続々と出撃していった 当時市の郊外にも東・西飛行場があり 同年四月この基地から初めて四式戦「疾風」特別攻撃機が沖縄周辺の目標をめざして南の空へ飛び立って行った。以来七月一日まで十七次に及ぶ出撃が行われ 未だ少年の面差しを残す二十才前後の若い特別攻撃隊員は 戦局の好転と祖国の勝利を信じて南海の果てに散華したのである。戦後三十二年の歳月と変容によって思い出の基地一帯は当時の面影を偲ぶよすがもない 時あたかも三十三回忌を迎えるに至って 隊員の遺族や各方面に慰霊碑建立の機運が高まり 本年六月市長を会長とする奉賛会が結成された 幸にひろく内外から多額の寄付が寄せられ ここに永久平和の願いを込めて特別攻撃隊員並びに基地にまつわる殉国の士の英霊を合祀するものである



ニコニコBOX

久しぶりに出席しました・・・**村 誠 会員**
写真ありがとうございました

・・・**小林 信雄 会員**

学校法人城西大学創立45周年が、皆様のおかげにて迎えることが出来ました

・・・**小久保 良行 会員**

出席率

会 員	出席者	出席率
33名	27名	81.81%
4月27日	コインBOX 2,078円	



欠席連絡は、前日までに事務局宛に、電話、FAX、Eメールにて、お願い致します。
(緊急の場合は当日10時までに) メーキャップ先への事前連絡もお忘れなく
電話 0475-52-1101 FAX 0475-55-5766 E-mail: info@togane-rc.jp